

夢塾だより

～ 塾生との日々のやりとり ～

(第26号) 令和元年9月26日



塾に入ってくる時の様子がどことなくいつもより明るいK君。私の横の机に無言で座る。「期末試験、どうだった?」「今日返されました」点数を直に言葉で言わずにテストを見せる。・・・「えっ、まじか?・・・ス、ス、ス、凄いじゃん。よくやった。えらい!」中間テストでは60点に届かなかった彼がはじめて80点を突破したのです。『にかっと笑った彼の前歯が白い』応用問題の他はミスなしの答案を見た私は彼の持つ瞬

発的集中力のすごさを感じ入ってしばらくものが言えなかった。「コツコツが勝つコツ」とはよく言ったもので毎日飽くことなくコツコツ続けることでいつかは大輪の花が咲く。これを機に彼は勉強の楽しさを知っていくことになるだろう。学校の成績は人と比べるものではなく、自分自身の成長の証しを刻むものなのです。だから過去の自分より進歩・成長していけるかが教育の使命だと思うのです。

夢塾には中・高校生その他、高校を中途退学して大学受験をする生徒もきています。彼も様々な困難を抱えながらもよく頑張って、一日も休まず通塾しています。教科書をいちから読み直しながら数学の本を小説を読むように感じ味わっています。4月から始めて数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱと進み、現在数学Bのベクトルをやっています。入塾当初よりも笑顔がたくさん見られるようになり、自信もつけてきました。来年四月には晴れて大学生になると思います。

Y中学校の一年生で7月の終わりに入塾したRさんのお母さんから嬉しいお手紙をいただきました。「いつもお世話になっております。9月上旬の期末で数学96点(中間69点)英語83点(中間80点)でした。夏休みはあまり学習に意欲がなくて心配しておりましたが、テスト一週間前、塾で頑張れたと言っておりました。ご指導ありがとうございます。Y中は二学期制ですので次回の中間テストは11/6 11/7 の予定です」

「夢塾」には現在60人の生徒が在籍しています。個性豊かな頼もしい生徒ばかりです。その生徒の個性と私の個性のガチンコ真剣勝負。「青少年の明るい未来のために」の一言が家を出て塾に向かうときの口癖です。